

臨床研究に関する情報公開（一般向け）

「初期救急領域における急性疾患予後予測スコア（NEWS）の有用性に関する観察研究

（MIE-NEWS）」 へご協力をお願い

2023年4月1日～2025年3月31日までに

当科スタッフにより救急治療（救急受診、入院中の緊急コールでの診察）を受けられた方へ

研究機関名：三重大学医学部附属病院

研究責任者：高度救命救急・総合集中治療センター 教授 鈴木 圭

研究分担者：高度救命救急・総合集中治療センター 助教 山口 貴則

高度救命救急・総合集中治療センター 助教 池尻 薫

高度救命救急・総合集中治療センター 助教 田中 康次郎

三重大学医学部医学科 鈴木 康平

三重大学医学部医学科 中嶋 智織

三重大学医学部医学科 福田 悠月

三重大学医学部医学科 長井 暉華

個人情報管理者：高度救命救急・総合集中治療センター 非常勤職員 伊藤 陽子

1. 研究の概要

1) 研究の意義：

血圧・呼吸や意識の状態などのバイタルサインから、集中治療室（ICU）外の患者急変を検知することを目的に、National Early Warning Score（以下NEWS）NEWSが提唱され、24時間以内の心停止、予期せぬICU入室、死亡、転帰を高精度に予測するとされています。しかし、一次・二次救急などの病院前における有用性や、特に、大学病院のような高度急性期病院における初期救急といえる、院内急変システムへの応用についてはその評価は定まっていません。本研究では、一次救急においても、トレーニングを受けたメディカルスタッフによるNEWS測定により、潜在的な重症患者がスクリーニングできる、二次救急搬送においても、救急隊によるNEWS測定により簡便に病院前での重症度判定ができる、高度急性期病院においても、緊急コールのタイミング遅れのため、ICU入室が増加している、という仮説を立て、初期救急領域におけるNEWSの有用性についての検討を行うことにしました。

2) 研究の目的：

初期救急領域におけるNEWSの有用性を検討することを主要な目的としますが、付随して 病院前救急体制において患者さまが適切に受診・搬送先が選定されているか、 予防できた院内急変の可能性に

ついて評価を行い、新しい Rapid response system（早期に患者さまの病状の悪化に対して対応するシステム）の構築について検討を行います。

2. 研究の方法

1) 研究対象者：

2023年4月1日～2025年3月31日までに当科スタッフにより救急治療（救急受診、入院中の緊急コールでの診察）を受けられた方

2) 研究期間：

許可日より2026年12月31日まで

3) 研究方法：

研究は、三重大学医学部附属病院の診療録からの情報を用いて、専ら集計や、簡単な統計処理を行う研究です。研究に用いるデータは、患者様の年齢・性別・基礎疾患などの背景、NEWSに関するデータ等であり、個人を特定可能な情報は解析に用いません。

4) 使用する試料の項目：

該当ありません。

5) 使用する情報の項目：

患者背景情報、主訴、自覚症状、NEWS 評価項目：「呼吸数」、「経皮的酸素飽和度」、「酸素投与の有無」、「体温」、「収縮期血圧」、「脈拍」、「意識レベル」、治療経過、最終診断、エンドポイント（予後）となります。

6) 利用又は提供を開始する予定日：許可日

7) 情報の保存：

研究対象者の個人情報は個人情報を特定できないように加工を行い、その個人情報を復元できる情報（いわゆる対応表）は個人情報管理者が保管します。個人情報を特定できないように加工した情報は電子情報として保存します。この研究で得られたデータは適切に保管し、研究終了後5年または研究発表後5年のいずれか遅い日まで保管した後、個人情報が特定できないまま廃棄します。

また、保管される既存試料・情報を新たな研究に利用する場合は、新たな研究の研究計画書等を倫理審査委員会に付議し、承認されてから利用します。また、その際は情報公開文書を作成し、当院のホームページ「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開」(<https://mie.bvits.com/rinri/publish.aspx>)で公開したうえで、研究対象者が研究参加を拒否する機会を保障します。他機関の研究者に既存試料・情報を提供する場合は、対応表は提供せず、個人の識別ができないよう措置を行います。提供先が外国の研究機関や外国企業の場合には、その国でのプライバシー保護規定が定められていることを確認した上で、患者さん個人を特定できる情報を含まない形にして提供します。

また、近年、データの正確性を見るために、論文の出版社からデータの提出を求められることがあります。また、全世界の研究者が、論文のデータにアクセスできるようにし、研究を行うことがあります（データシェアリングといいます。）。両者とも、個人を特定できなくした情報しか提供しませんので、これにより個人を特定されることはありません。

8) 情報の保護：

研究に関わる関係者は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、関係者は、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。試料・情報の管理の責任者は研究責任者です。

9) 倫理審査：

三重大学医学部附属病院または医学部・医学系研究科内で行われる全ての臨床研究は、研究に参加される方の人権や安全性の保護および科学性について問題がないかを三重大学医学部附属病院 医学系研究倫理審査委員会で審査され、その意見をもとに病院長または研究科長が許可したのみ実施されます。本研究は、三重大学医学部附属病院 医学系研究倫理審査委員会において審査を受け、病院長または研究科長の許可を得ております。

10) 研究資金源及び利益相反：

本研究では高度救命救急・総合集中治療センターの運営費交付金を使用します。本研究の結果および結果の解釈に影響を及ぼすような利益相反はありません。また、本研究を行うことによって研究に参加いただいた方々の権利・利益を損ねることはありません。

11) 研究計画書および個人情報の開示：

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についてお分かりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。この研究はあなたのデータを個人情報とわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

12) 研究への使用を希望されない場合：

あなたの試料・情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。あなたが研究を拒否された場合、これまで取得したデータは全て削除します。ただし、解析中もしくは論文執筆中のデータ、また、既に学会や論文で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。拒否される場合は、お早めにご連絡をお願い致します。

<問い合わせ・連絡先>

担当者：三重大学医学部附属病院 高度救命救急・総合集中治療センター 教授 鈴木 圭

電話：059-232-1111（平日：9時30分～17時00分）

ファックス：059-231-5227